

選べる学校制度への定員制の導入に伴い、日野第一小学校と日野第四小学校の通学区区域の一部で、潤徳小への通学を可能としていた調整区域(石田一丁目、二丁目、万願寺五丁目、六丁目38番地まで)を、学校選択の希望実態に即して、潤徳小学校、三沢中学校の通学区区域に変更し、平成22年度の入学予定者より適用します。

なお、調整区域から一小、四小へ現在通学している児童については、学区区域の変更後、当面の間は、選べる学校制度により



調整区域を潤徳小・三沢中の学区区域に変更

日野第一中学校を選ぶことができることとします。(学校課)

「選べる学校制度」に定員制を導入

— 来年度入学者より適用 —

選べる学校制度への定員制の導入については、本紙前号2面でお知らせしました。このことについて、6月25日開催の第3回教育委員会定例会で基本方針が決定しました。平成22年度の入学予定者から実施します。選べる学校制度を今後とも継続して円滑に運営できるよう、ご理解をお願いいたします。

定員制の導入については、4月20日から5月16日まで、11回の説明会を開催し、延べ104名の保護者・市民の方々の参加があり、貴重なご意見をいただきました。これらの意見を取り入れ、第3回教育委員会で次のように基本方針が決定されました。

(1) 基本的考え方

○ 通学区域内の学校を希望する児童・生徒は、全員受け入れます。

○ 学校運営上、施設状況に、なお余裕がある場合には、定員(受入可能人数)を定め、通学区域外からの選択希望者を受け入れます。

○ 通学区域外からの選択希望者が多く、定員を超える場合

には、公開抽選とします。ただし、通学区域外からの選択希望者のうち、入学時に兄弟が在籍する学校を選択する場合は、定員制にかかわらず在籍している兄弟と同一の学校に進学できるものとします。

(2) 通学区域外からの受入可能人数

通学区域外からの受入可能人数は、各学校の施設状況を踏まえ、通学区域内の入学予定者を基にして、私立学校等への入学者や卒業時までの転出入者の予測人数を加味して決定し、希望校調査の際に公表します。

(3) 経過措置

平成21年度に現に小学校に在学している児童については、小学校から中学校への連続性を考えて、定員制にかかわらずその小学校と同一ブロック内の中学校に進学できるものとします。

(4) 抽選方法

○ 通学区域外からの選択希望者が、受入可能人数を上回った場合は、公開抽選により入学予定者及び待機者を決定し通知します。

○ 待機者には優先順位を付け、私立学校への入学者や選べる学校制度の選択者の状況により受け入れを決定します。

(5) 導入の時期

○ 平成22年度の入学予定者から実施します。(学校課)

◆ 特色ある学校づくりPT発足 ◆

日野第三中学校の小規模化を抑制する方策を検討するプロジェクトチームが発足しました。

第三中学校では、学区内の子ども数が減少しており、現在の生徒数は240人。今後も減少傾向が続くと考えています。そのため、近隣大学との提携による新たな学習活動や部活動の活性化、通学バスの費用援助など、より魅力ある第三中学校にしていきたいため、保



護者や地域の皆様と一緒に考え、検討を重ねていきます。(学校課)

夏休みを迎える前に 携帯電話利用のルール作りを

夏の暑さも本番を迎え、長い夏休みも目の前です。子どもたちにとって、心と体を鍛える絶好の機会ですが、様々な危険が潜む季節でもあります。今回は「携帯電話」について、夏休みを迎える前にご家庭でおさえておいていただきたいポイントについてご紹介いたします。

文部科学省が昨年11月から12月にかけて実施した「子どもの携帯電話等の利用に関する調査」結果が5月に公表されましたが、それによりまず、次のような特徴があります。

○ 携帯電話をよく使う子どもは就寝時間が遅くなるなど生活面への影響が見られる。

午後11時までに就寝する中学2年生の割合は、携帯電話による一日平均のメール送受信件数が30件以上だと25・3%、30件未満だと42・8%、携帯電話を持つていないと46・6%となっ

ています。

○ 携帯電話の利用について家庭のルールがある子どもは、利用マナーが身に付いている。自分に来たチェーンメールを転送することについて、家庭にルールのある中学2年生は72・1%が「してはいけない」と回答していますが、ルールのない中学2年生は、その割合が58・3%に下がっています。

この他、フィルタリングをしている子どもは、していない子どもに比べて携帯電話にかかわるトラブルを経験した割合が少なくなるなど、子どもが所持する「携帯電話等」について、家庭のなかでどのような取り扱いになっているかが大きな意味をもっていると言えます。この機会にご家庭で「携帯電話等」の利用上のルールについて、話しあってみてはいかがでしょうか。(ICT活用教育推進室)

傍らに人あり

日野市公立小学校校長会会長
夢が丘小学校校長



矢野 優

青年は膝を崩さず水羊羹

川崎 展宏

青年はお世話になった方のところを訪ねたのだろうか。

水羊羹を出されてかしこまっている不器用な昔の青年像が鮮やかに浮かんでくる。まつすぐな若者の心の折り目が見えてくる。どこか遠い懐かしい日本人の風景である。

かつて東京大学で生物学を教えたアメリカ人のモリスは、明治の日本人を讃えて「どれだけ民衆が集まっても、けっして乱暴狼藉はしない。桜見物の群集にも秩序というものがちゃんとある。これは、我が本国のアメリカでは見られないものである」と。しかし、時代の変化とともに、大人も子どもも確実に変わってきている。

周りのことも見えない若者の夢中で声高なおしゃべり、化粧室の鏡の前ですることだろうなと思われる女性の身だしなみを車内で無邪気にやっている。目の前の友だちを「こいつ」と笑いながら呼ぶ大学生。車内で立つたまま、大きな食べ物をおいしそうにほお張る女子学生。水羊羹の前にかしこまる若者は遠い風景になった。

モリスにはこの伸びやかな日本の若者をどうみるだろうか。羊羹にいつ手を出そうかと硬くなっていた若者を歌った俳人は今どんな句を詠むのだろうか。傍らに人がいて人の間に人がいて人間である。人と人とのかわりがあって社会があることを小さな小学生のころから学ばせなければと切に思うこの頃である。

中学校の窓

の中学校紹介

日野市の各小中学校では、特色ある学校づくりを目指し、様々な取組みを行っています。

今号では、中学校の様子を紹介します。(次号で小学校の様子を紹介する予定です。)

なお、詳しい内容は、各校のホームページをご覧ください。

日野第一中学校



留学生の話を聞く会

校長 吉村 正久

「日本で困ったことはありませんか」これは留学生への生徒の質問の一部です。本校では国際理解を進めるために毎年、留学生の話を聞く会を行っています。日本人は真面目で勤勉であるとか、日本は豊かで恵まれているなど、日本のよさを留学生から教えてもらって「なるほど」とうなずく生徒も多く、今年もまた「聞く会」が楽しみです。



留学生の説明を聞く生徒

<http://www.j-hino1.hino-ky.ed.jp/>

日野第二中学校



「自律・豊かな心・信頼される学校」を目指します

校長 尾形 斉

本年度より特別支援、学級「一組」を開設し、ノーマライゼーションの精神を育み、偏見や差別、いじめのない学校作りを推進します。

◇本校の特色ある教育活動食育教育の推進：地域学習、地元農業の理解、地産地消の重要性、環境学習、生き方学習等を推進しています。

◇地域との連携教育の推進：保護者、地域、学校との三位一体の教育を推進しています。



総合学習の農作業体験

<http://www.j-hino2.hino-ky.ed.jp/>

七生中学校



挨拶の七生中学校

校長 中野 秀樹

本年度の重点目標「基礎・基本の確かな定着」「規律規範意識の醸成」

生活の重点目標は「廊下で会ったら、こんにちは」を合言葉に挨拶運動を展開しています。また、毎月初めの三日間、校門で規律委員会の生徒、教員、保護者の皆さんで朝の挨拶運動を実施しています。来校者の方がうれしくなるような挨拶を目指しています。



月初めの挨拶運動

<http://www.j-nanao.hino-ky.ed.jp/>

日野第三中学校



安定感のある学校を目指して

校長 山口 俊浩

安定した学校の基盤をなす「三つのけじめ」を生活指導の重点においています。三つのけじめとは……*人へのけじめ*時間へのけじめ*物へのけじめです。言い換えると人を大切にする、時間を大切にする、物を大切にすることです。それらの気持ちをもち行動することにより大切にしている学校です。安全・安心、そして安定感のある学校を目指しています！



人のけじめは挨拶から

<http://www.j-hino3.hino-ky.ed.jp/>

日野第四中学校



日野四中の1日は、明るく元気な「あいさつ」から始まります。

校長 千葉 正

校舎のいたるところからあいさつが聞こえ、生徒会も積極的に、あいさつ運動を推進しています。前向きで様々な活動に積極的に取り組んでいる生徒達、そして生徒達をいつも献身的に支えてくれる保護者や地域の皆様がいいます。

今年も「学校・家庭・地域」の連携を大切にした学校づくりを目指していきます。



あいさつ運動(登校時)の様子

<http://www.j-hino4.hino-ky.ed.jp/>

三沢中学校



「生徒一人一人を大切に、鍛え可能性を伸ばす学校」

校長 正留 久巳

学ぶ姿勢づくりを重要な視点とし、基礎・基本を身につけさせることを大きな目標としています。生活指導は生き方の基盤づくりとして、あらゆる機会を捉え指導しています。道徳教育を大きな柱とし、教材開発をおこなっています。少人数指導は数学、T.Tは保健体育で実施し、知徳体のバランスの取れた生徒の育成を目指しています。



体育祭での大ムカデ競争(今年6月開催)

<http://www.j-misawa.hino-ky.ed.jp/>

大坂上中学校



「オリエンテーション合宿」

校長 岡部 秀敏

中一ギャップと言われる問題を早期に解消するための一つとして始め、本年度で5回目を迎えました。

一泊二日の宿泊行事ですが、多くの小学校から入学した生徒(200名)のギャップの解消と、早く大坂上中学生としての生活ができるように「中学生への変身プログラム」として位置づけています。



全員での食事風景です

<http://www.j-ohsakaue.hino-ky.ed.jp/>

平山中学校



美しくあれ 健やかにあれ

校長 秋山 譲児

健やかな心は、美しい所作となつて現れます。本校では、規範意識や礼儀・作法は生きる力であり、学力を培う基礎・基本と考え、厳しく粘り強く指導しております。また、ICT活用教育の一層の推進、小学校との円滑な接続と個に応じた教育など、保護者や地域のご支援もいただき、教職員一丸となって取り組んでおります。(タイトルは、校歌の一節です。)



整然とした体育祭開会式

<http://www.j-hirayama.hino-ky.ed.jp/>

市民プールが オープンしています

夏の遊び場・憩いの場として多くの市民に親しまれている市民プールが7月11日(土)にオープンしました。

【市民プール】

▽開設期間 9月6日(日)まで
※8月30日(日)は市民大会のため休場します

▽利用時間 9時～17時※7月17日(金)まで・9月1日(火)～9月6日(日)は13時～17時

▽利用料金 中学生以下100円・高校生以上200円(3時間。延長の場合は別途延長料金が必要です)

▽施設内容 50メートル・25メートル

プール・直径10メートル形幼児用プール

▽注意事項 ①小学生未満には高校生以上の付き添いが必要です

②50メートルの遊泳は身長制限があります ③大きな浮き具などは利用できません(ボートなど) ④天候などにより営業を中断・中止する場合があります

⑤その他遊泳に対し、利用者の安全管理のため、危険行為などの禁止事項を設定しています

【市民プールへのアクセス】

・豊田駅南口、高幡不動駅からバス、市民プール下車すぐ
・市民プール南側の浅川兩岸で駒形の渡し舟を運行しています

・駐車場50台あります



※市民プールへは、環境に配慮し出来る限り公共交通機関をご利用ください。

【問合せ先】

市民プール ☎583-5440
※指定管理者
シンコースポーツ㈱ <http://www.tama-spo.com/hino/>

夏だ！プールだ！全員集合！！



学校プールで 遊ぼう！ ひのっ子元気プール

夏休み期間中の5日間、子どもたちの体力・健康づくりのため、市内小学校のプールで「ひのっ子元気プール」を実施します。

ひのっ子元気プールは、各小学校の管理運営委員会が開催日、時間などを決めて行い、遊びや交流を中心とした利用ができます。

今年の実施日は、児童を通して案内をするなどいたしますので、ご確認の上ぜひご利用ください。

児童水泳記録会について

市民体育大会水泳競技及び児童水泳記録会を合わせて開催します。種目や参加方法等の詳細については、市役所文化スポーツ課等で配布する実施要項をご覧ください。

▽月日 平成21年8月30日(日)

熱中症に注意！

スポーツ活動の熱中症は、屋内・外を問わず発生します。水分をこまめに補給し、汗をたくさんかく場合には、塩分補給も必要です。

また、高温多湿で汗が蒸発しにくい時、風が弱く身体の熱が逃げにくい時、直射日光を受け体温が上昇している時などは、特に注意が必要です。

(文化スポーツ課)

ひのっ子 がんばって います

三沢中学校

5月に行われた、第七ブロック日野・多摩・稲城地区春季野球大会にて優勝。

秋季大会に続き、日南地区大会2連覇を達成、都大会への秋・春連続出場を果たしました。
現在は夏季大会での3連覇、及び都大会での上位入賞を目標に、休日を返上して毎日グラウンドで汗を流しています。



ひのっ子エコアクション

身近なところから環境について考えよう

ひのっ子エコアクションとは、日野市の環境方針に基づき日野市立小・中学校で取り組んでいる『環境にやさしい学校づくり』です。

学校生活をはじめ日常生活における環境負荷・環境問題に触れ、考え、実践することにより、自分を取り巻く環境に関心を持ち、自然の大切さを知ることでの自らの生活を振り返る取り組みです。

現在、小中学校では、教職員・児童生徒が一体となって、身近なところからグローバルな環境保全へと繋がる取り組みを実践しています。

各学校における、具体的な取り組みは……
・クラスにエコ係を置いて、体育などで教室に誰も居なくなる時には、必ず電気を消すようにする。

・今月の目標にエコ目標を設けて、『水道の水は鉛筆の細さで出して使おう』などと呼びかける。

・学校の近くの用水の水を使って、打ち水をする。
・ゴーヤやもみじひるがお等のつる性植物を活用して、CO₂を吸収し、教室にやさしい日陰を作る緑のカーテンを育てる。

・落ち葉掃きで集めた落ち葉を農家が堆肥化し、学校給食に使う農作物を育てる肥料として循環させる。

など、各学校のアイデアで、色々な取り組みが行われています。これから、夏休みを向かえます。各ご家庭でも、環境に配慮した行動に、是非取り組んでみてはいかがでしょうか？

(庶務課)

小学校への寄付のお礼と報告

(株)いなげや様より、日野第一小学校にアクアリウムと角型水槽を、日野第四小学校にマルチ環境測定器とタモ網を、東光寺小学校に汚水・雑排水用水中ポンプをご寄付いただきました。

各学校において、贈呈式を行い、各店舗の代表者様と日野市でマイバック運動を推進しているごみゼロ推進課長より、ご挨拶をいただきました。

(株)いなげや様は、社会・環境活動宣言をされ、毎年、社会環境活動レポートの作成や、レジ袋削減の



四小での贈呈式

ための有料化を5店舗で実施しています。日野市内でも、日野駅前店、日野万願寺店、日野栄町店の3店舗で実施しています。



一小での贈呈式

今回のご寄付は、そのレジ袋有料化による収益を各店舗の地域の小学校に寄付して、環境学習に役立ててもらいたいとのことです。

ここで、レジ袋の取り組みについて、紹介します。3店舗のレジ袋の辞退率は、平均85・2%、枚数にして合計1,658,829枚のレジ袋を削減することができました。削減されたレジ袋を石油に換算すると、30,357リットルの石油に相当し、



東光寺小での贈呈式

(庶務課)

公民館の催し

平和アニメ上映会

8月6日、9日、15日、忘れてほしくない日です。この日を体験した人も、今生きている私たちも、そして、これからの未来を託す元気な子どもたちにも……。「平和」って、私たちがしっかりと守っていかなければ、簡単に壊れてしまいます。そんな思いを、毎年、8月に振り返っていただければと、市内全児童館を巡り、平和アニメ上映会を実施します。(※時間は各児童館へ)

ひの아트フェスティバル「真夏の森の夢2009」

8月22日(土)、23日(日)の両日第13回ひの아트フェスティバルが自然体験広場で開催されます。緑あふれる多摩川の近くの森で、バンド演奏、絵画や彫刻の



展示、手作り体験広場、フリーマーケットなどの催しがいっぱい。緑の風に吹かれながら、楽しい夏の日をお過ごしください。

平和アニメ上映会日程

日程		会場	作品
8月11日(火)	午前	みさわ児童館 ☎591-3456	海からぶたがやってきた
	午後	みなみだいら児童館 ☎599-0166	ガラスのうさぎ
8月12日(水)	午前	あさひがおか児童館 ☎583-4346	象のハナ子
	午後	たまだいら児童館 ☎589-1253	象のハナ子
8月13日(木)	午前	ひの児童館 ☎581-7675	海からぶたがやってきた
	午後	もぐさだいら児童館 ☎591-7001	象のハナ子
8月14日(金)	午前	しんめい児童館 ☎583-6588	象のハナ子
	午後	ひらやま児童館 ☎592-6811	当日決定
8月15日(土)	午前	さかえまち児童館 ☎585-8281	ぞう列車がやってきた

夏休みわくわく学習術

市内のいろいろな学校に通っているお友だちと、学年を超えて一緒に学習する楽しさを体験してほしいと、毎年夏休みに実施しているのが、「わくわく学習術」です。「塾」ではなく、「術」です。「学ぶ」という機会って、いろいろな所にあるのではないかと、と考え、「術」と名付けました。通学路にも、家の周りにも、土の中にも、大空にもお友だちとの楽しいおしゃべりの中にも、地域の人たちとの挨拶の中にも、どこにでも学ぶ「術」がある。そのことに、ちょっと気づいてほしいな、と思つて毎年みなさんの参加を待っています。

今回は、「地球温暖化」をテーマにした学習術。そう、宿泊体験もあります。

郷土資料館 夏の催し

①郷土資料館企画展

「夏休みは、郷土資料館で妖怪に会おう!」『稲生物怪録(いのものけろく) 絵巻』公開」

(7月18日~9月6日、月曜休、7月20日開館21日休)

『稲生物怪録絵巻』は、江戸時代の寛延2年(1749)7月、現在の広島県三次(みよし)市にいた稲生武太夫が、30日間物怪(妖怪)と闘った様子を記録した大変有名なものです。『勝五郎再生記聞』の作者、平田篤胤の幽界・冥界研究の三本柱の一つでした。郷土資料館に寄贈された井上恒正コレクションの中から、実際の絵巻とパネルで、全場



『稲生物怪録絵巻』(郷土資料館所蔵)より

面を公開します。勇敢な少年武太夫を怖がらせようと、毎晩様々な妖怪が出現します。どんな妖怪が出てくるのか、その数々をお楽しみ下さい。

②夏休み子ども講座

「探検!勝五郎生まれ変わリ物語」

程久保に伝わる生まれ変わリ物語ゆかりの場所を見学します。7月25日(土)午前9時30分~12時30分/高幡不動尊五重塔地下ホール集合(解散も同じ) / 先着20人(小学生・親子の参加も可) / 帽子・水筒・筆記用具持参、申し込みは郷土資料館へ

日野宿発見隊

「まちかど写真館 in ひの」日野用水・今昔

一小近くの大昌寺外壁で7月31日まで開催中

昨年、50年前の写真を当時の撮影地点と同じ場所に展示して「ちい散歩」などで話題をよんだ「まちかど写真館 in ひの」。今回は日野用水をテーマにしました。

江戸一の米どころとして日野三千石を支えてきたのが日野用水です。

地元の人々はこの日野用水をととても大切にしてきました。用水と共に生きてきた、生活の記録写真を、新しく開渠になった大昌寺前の用水を歩きながらゆっくりご覧いただけます。

用水で洗い物をしている風景。子どもたちが魚とりをしている風景。なつかしい、ちよつと昔



日野市の文化財めぐり

発見!! 小学生の遺跡調査報告

左の写真は、昭和44年に、当時日野第一小学校の6年生だった谷享司さんが作った壁新聞です。夏休みに市内の南広間地遺跡(現日野市万願寺)で発掘調査の手伝いをしたことを題材にしています。壁新聞は、遺跡調査した地点を示した地図、調査をした日のできごとを記入した表、遺物の出土した位置を示した住居跡の図の3種類から構成されています。

この発掘調査は8月16日から20日までの5日間調査されました。この調査で、土器、石器、矢じり、土偶の足、耳飾り、亀型土製品などが出土しました。

(文化スポーツ課)

例えば8月18日の記事を見てみると、「別に第四区を掘り始める。きょうは亀の形をした土器が出てきた。背中に四角いものがついていた。考古学の先生は、この土器は関東地方では非常にめづらしいと言われた。」とあります。

発掘調査の成果は調査報告書にまとめられています。7月25日(土)午前9時30分~12時30分/高幡不動尊五重塔地下ホール集合(解散も同じ) / 先着20人(小学生・親子の参加も可) / 帽子・水筒・筆記用具持参、申し込みは郷土資料館へ

